

令和6年度当初予算主要事業

(令和5年度第1次3月補正予算含む)

I 令和6年能登半島地震への対応

- 1 生活の再建
- 2 生業の再建
- 3 災害復旧等

II 成長戦略の実現に向けた諸施策

- 1 北陸新幹線県内全線開業への対応
 - (1) 県内全線開業を契機とする誘客対策の展開
 - (2) 並行在来線の金沢以西延伸に伴う対策
- 2 国補正予算に呼応した経済対策
- 3 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり
 - (1) 産業のDX推進
 - (2) 産業のGX推進
 - (3) 産業を支える人材の確保・育成
 - (4) 新事業・新産業の創出
 - (5) 国内外への販路拡大・魅力発信
 - (6) 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
- 4 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり
 - (1) 農業生産構造の強化
 - (2) 持続可能な農業の体制づくり
 - (3) 農林水産物のブランド化の推進や里山里海地域の振興
 - (4) 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
 - (5) 持続性のある水産業の実現
- 5 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり
 - (1) 個性と厚みのある文化の創造と発展
 - (2) スポーツを通じた活力の創造
 - (3) 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
 - (4) 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤の更なる充実
 - (5) 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進

(6) 世界に開かれた国際交流の推進

6 石川の未来を切り拓く人づくり

- (1) 次世代を担う人材の育成
- (2) 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
- (3) 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

7 温もりのある社会づくり

- (1) 安心して子どもを産み育てることができる環境の充実
- (2) 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
- (3) 全ての県民への必要な医療の提供
- (4) 誰もが心豊かに安心して暮らせる多様性を認め合う社会づくり
- (5) 男女が共に活躍できる社会の実現

8 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

- (1) 災害に負けない強靱な県土づくり
- (2) 安心して快適に暮らせる地域づくり
- (3) 持続可能な循環型社会づくり
- (4) 自然と人とが共生できる社会づくり

9 デジタル活用の推進

- (1) デジタル活用の基盤整備
- (2) 社会全体のDX推進

10 カーボンニュートラルの推進

- (1) 幅広い産業分野におけるGX推進
- (2) エネルギー構造の転換への対応
- (3) 住宅や民間施設などのゼロエネルギー化の促進
- (4) 環境配慮型自動車の普及やモーダルシフトの促進
- (5) カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成

11 計画的な行財政運営の推進

- (1) 県民の視点に立った行政サービスの提供
- (2) 柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保

I 令和6年能登半島地震への対応

(以下の金額は令和5年度第1次3月補正予算及び令和6年度当初予算の合計)

1 生活の再建

- ・ 災害救助法に基づく応急救助 249,230,000 千円
 - － 避難所の確保や食料・生活必需品の支給
1次、1.5次、2次避難所の設置、炊き出しや飲料水、被服・寝具の給与など
 - － 災害現場、避難所等での医療支援
災害派遣医療チーム(DMAT)等の活動、医薬品の供給など
 - － 応急仮設住宅の設置
建設型応急仮設住宅の設置、みなし応急仮設住宅の確保
- ・ 応急仮設住宅等入居者に対する生活家電の提供 1,300,000 千円
災害救助法による支援の対象外である洗濯機・冷蔵庫・テレビの提供
- ・ 被災者の健康管理等の支援
 - － 被災者のこころのケア 22,000 千円
専用電話相談窓口の開設
 - － 被災高齢者や障害者の健康サポート 170,000 千円
在宅避難者への個別訪問など
 - － ペットを飼育している被災者への支援 9,800 千円
飼育が困難となったペットの一時預かり
- ・ 被災児童生徒への支援
 - － 被災児童生徒の学びの確保 45,160 千円
通学困難となった生徒のためのスクールバスの運行、
避難先での学習支援、奥能登地域の小・中学校への教職員派遣
 - － 被災児童生徒のこころのケア 175,197 千円
電話相談窓口の開設、スクールカウンセラーの増員(最大週5日)
 - － 児童生徒等のいる被災世帯の経済的負担の軽減 219,272 千円
家屋に被害を受けた世帯に対する授業料や入学手数料等の減免、
収入が急減した世帯に対する授業料相当額の支援、
大学入学共通テスト及び公立高等学校入学者選抜に係る交通費や
宿泊費等への支援
- ・ 災害弔慰金の支給 843,750 千円
- ・ 支援者の受入環境の整備 1,543,000 千円
国・他自治体からの応援職員等の宿泊拠点の確保
(利用施設の応急修繕、キャンピングカーの借り上げ、のと里山空港に
おけるプレハブ式宿泊施設の整備など)
- ・ 被災地におけるボランティア活動への支援
(公財)石川県県民ボランティアセンターの県民ボランティア基金で対応)

- ・ 被災者の生活再建
 - － 被災者生活再建支援法に基づく支援(都道府県拠出基金で対応)
国制度による生活の安定化や住宅の再建・修理など
(全壊・半壊解体:最大300万円、大規模半壊:最大250万円、
中規模半壊:最大100万円)
 - － 県独自の被災者再建支援制度に基づく支援 3,110,000 千円
半壊世帯への支援(最大100万円)
- ・ 災害援護資金の貸付 900,000 千円
生活再建に必要な資金の貸付(最大350万円)
- ・ 生活福祉資金貸付金の貸付 1,231,000 千円
個人向け緊急小口資金等の貸付(緊急小口最大20万円)
- ・ 県税の特例措置
被災状況に応じた減免、納税の猶予、申告・納付等の期限延長

2 生業の再建

- ・ 中小企業等への支援
(復旧支援)
 - － 中小企業等の施設・設備の復旧に対する支援(なりわい再建支援補助金)(最大15億円) 30,000,000 千円
- (事業の再開・継続に向けた支援)
 - － 国補助金の対象外となる中小企業のソフト事業に対する県独自の支援 400,000 千円
事業再建に向けた販路開拓や商品開発等に対する支援(最大200万円)
 - － 国補助金の対象外となる県指定・稀少伝統的工艺品に対する県独自の支援 100,000 千円
製造に必要な道具・原材料費等に対する支援(最大1,000万円)
 - － 商店街の事業再建に対する支援 650,000 千円
施設復旧への支援(上限なし)、
賑わい創出イベント等に対する支援(最大100万円)
 - － 地震災害対策特別融資制度の創設 融資枠 700 億円
無利子(借入当初5年間)、信用保証料の免除
 - － 二重債務問題に対応する官民ファンド(総額100億円)の創設に伴う出資金 債務負担行為 500,000 千円
再建に必要な資金調達を行う被災事業者の既往債務に係る債権買取など
 - － 事業者向けワンストップ相談窓口の設置 175,000 千円
金沢(工業試験場)、能登(奥能登総合事務所)に開設
 - － 専門家派遣の充実 200,000 千円
被災事業者は派遣回数上限なし、派遣枠6,000回
 - － 労働者の雇用維持や就労に対する支援 20,000 千円
「在籍型出向制度」の活用促進、短期派遣の斡旋等の支援

- ・ 農林漁業者への支援
 - (応急支援)
 - － 畜産農家への応急支援 100,100 千円
発電機や家畜用飲料水等の資材供給など
 - － 漁業者への応急支援 105,000 千円
遠隔地から調達する鮮度保持用の氷や燃油の運送費支援
 - (復旧支援)
 - － 農林水産業施設の早期復旧(農地、林道、漁港施設など) 42,842,400 千円
うち国の権限代行による復旧 1,230,000 千円
狼煙漁港、地すべり(輪島市稲舟地区)、
大規模山腹崩壊(珠洲市、輪島市)など
 - － 機械・施設等の修繕・再取得に対する支援(事業者負担1/10) 3,587,600 千円
トラクター、畜舎、木材加工設備、漁船など
 - － 共同利用施設の修繕・再取得に対する支援(事業者負担3/10) 5,020,000 千円
米の乾燥調製施設、水産物の鮮度保持施設など
 - － 農業者や漁業者の事業再開までの就労先確保等に向けた支援 22,000 千円
業界団体と連携した就業斡旋や各種支援制度のPR、
漁場の堆積物等の除去を行う漁業者への支援
 - (事業の再開・継続に向けた支援)
 - － 営農再開に向けた環境整備に対する支援 327,529 千円
水稻苗の調達、津波による海水の影響を受けた農地の除塩、
農業集落における水路やため池等の小規模修繕への支援など
 - － 能登農林水産業ボランティア制度の創設 4,700 千円
草刈りや泥上げなど営農に必要な作業への協力体制の構築
 - － 営農活動を通じた地域コミュニティ機能の再生 20,000 千円
モデルとなる集落の取り組みへの支援
- ・ 風評被害対策としての観光需要の喚起
 - － 北陸応援割「いしかわ応援旅行割」の実施 5,020,000 千円
金沢・加賀エリア等への旅行代金の割引(補助率50%、最大2万円/泊)

3 災害復旧等

- － 公共土木施設(道路、河川、港湾など) 414,293,000 千円
うち国の権限代行による復旧 39,093,000 千円
のと里山海道、国道249号、河原田川、七尾港、輪島港、宝立正院海岸など
- － 農林水産業施設(農地、林道、漁港施設など)(再掲) 42,842,400 千円
うち国の権限代行による復旧 1,230,000 千円
狼煙漁港、地すべり(輪島市稲舟地区)、
大規模山腹崩壊(珠洲市、輪島市)など

－	のと里山空港	938,000 千円
	うち国の権限代行による復旧	928,000 千円
－	のと鉄道の運休に伴う移動手段の確保	29,000 千円
	代行バスの運行に対する支援(全区間の鉄道運行再開まで)	
－	医療機関、社会福祉施設（高齢者施設、障害者施設、認定こども園など）	4,953,000 千円
－	県立学校	1,450,000 千円
－	社会教育施設（文化・スポーツ施設）	354,659 千円
－	庁舎、県民利用施設（のとじま水族館など）	1,280,501 千円
－	文化財（金沢城公園、兼六園、文化財の調査・救出など）	1,170,722 千円
－	交通安全施設（信号機）	210,000 千円
・	能登の創造的復興に向けた指針となる「復興プラン」の策定	10,000 千円
・	能登半島地震復旧・復興推進部の創設	

II 成長戦略の実現に向けた諸施策

(以下の金額は令和6年度当初予算。令和5年度第1次3月補正予算の場合は注記のとおり)

1 北陸新幹線県内全線開業への対応

- 文化観光スポーツ部の創設

(1) 県内全線開業を契機とする誘客対策の展開

- 誘客キャンペーンや大規模イベントの実施(能登の復興に向けたキャンペーンとしても実施)
 - 年間を通じた切れ目ない誘客キャンペーンの実施 95,000 千円
大手旅行会社との連携による全国的な誘客キャンペーン(4月～9月)、
⑧JRと北陸三県が連携した北陸 destinations キャンペーン
(10月～12月)及びオープニングイベント、
⑧人気アニメキャラクターを活用したミステリーツアーなど
 - 北陸三県連携による誘客プロモーションの実施 16,000 千円
周遊観光デジタルスタンプラリーの実施、
首都圏でのメディアに向けた情報発信など
 - ⑧ 特別展「まるごと奈良博」の開催(県立美術館) 10,000 千円
奈良国立博物館が所蔵する国宝・重要文化財を含む約200点の
仏教美術コレクションを展示(会期:7月6日～8月25日)
 - ⑧ 伝統的工芸品月間国民会議全国大会の開催(会期:11月7日～10日) 15,000 千円
 - ⑧ 特別展「食を彩る工芸(仮称)」の開催(県立美術館) 25,536 千円
工芸の名品を季節毎のテーブルウェア等として展示
(会期:11月9日～12月8日)
 - 首都圏アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」(3月9日オープン)での
観光情報発信 128,100 千円
全線開業PR特設ブースによる誘客促進など
 - 関西圏での情報発信拠点を核とした誘客の推進 69,900 千円
⑧北陸三県連携による情報発信拠点の開設(大阪・梅田、7月)、
⑧敦賀駅での乗り換え客向けの情報発信、
⑧関西ローカル番組での開業PRなど
 - 本県が舞台となったアニメや映画とタイアップした情報発信 19,000 千円
⑧アニメ映画のキャラクターや声優を活用したPRなど
 - アニメを活用した誘客促進 15,000 千円
本県ゆかりのアニメ関連企業等と連携したイベントの開催
 - 全線開業を契機とした金沢港へのクルーズ船の寄港促進 4,500 千円
開業により1時間圏内で結ばれる北陸三県の観光素材のPRなど

(2) 並行在来線の金沢以西延伸に伴う対策

- ・ IRいしかわ鉄道の金沢以西延伸を踏まえた取り組み
 - － 経営安定化のための運行支援基金に対する積み立て 421,100 千円
 - － 乗継割引・運賃値上げ抑制への支援 250,000 千円
 - － 「開業記念キャンペーン」による北陸三県周遊の促進 8,000 千円
 - ⑧北陸三県を横断する観光列車の運行、
 - ⑧北陸三県の各並行在来線が連携したスタンプラリーの実施など
 - － マイレール意識の醸成と利用促進 8,000 千円
 - ⑧県内鉄道事業者が連携した周遊イベントの開催、
 - ⑧沿線市町と連携した「IRいしかわ鉄道マルシェ(仮称)」の開催など

2 国補正予算に呼応した経済対策(3月1次補正)

- － ⑧ 賃上げにつながる事業者の生産性向上の取組支援(最大300万円) 150,000 千円
- － ⑧ 設備投資を対象とした県制度融資における賃上げ事業者への金利の優遇措置の実施
- － ⑧ 介護職員・看護補助職員等の処遇改善 618,700 千円
 - (2月～5月)交付金で賃金引き上げ分を措置
 - (6月以降)介護報酬・診療報酬等で賃金引き上げ分を措置

3 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

- ・ 意欲ある中小企業の前向きな取り組みの支援
 - － 成長戦略ファンド(総額700億円)による支援 480,000 千円
 - 革新的な新技術等の研究開発から身近な商品・サービス開発、販路開拓までの総合的な支援、産学官金連携の「いしかわ新事業創出支援コンソーシアム」による案件発掘・フォローアップ

(1) 産業のDX推進

- ・ 事業者のニーズに応じたきめ細かなデジタル人材育成
 - － 早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」の開催 26,000 千円
 - － デジタル分野でのリスキリング講座の開講 12,000 千円

(2) 産業のGX推進

- ・ 成長市場としてのグリーン分野への参入
 - － 産学官連携による炭素繊維分野における革新的な研究開発の推進 200,000 千円

(3) 産業を支える人材の確保・育成

- ・ 学生の県内就職促進
 - － 大学生の県内就職意識の醸成 73,835 千円
 - 合同企業説明会やインターンシップマッチング交流会の開催など

- ・ 漁業従事者の確保・育成、定着の促進
 - － 漁業就業希望者に対する総合的な支援 4,000 千円
 現地における見学会や体験乗船会、
 移住予定者に対する長期研修の実施など

5 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

(1) 個性と厚みのある文化の創造と発展

- ・ 文化に親しむ環境づくり
 - － ⑧「ガルガンチュア音楽祭」の開催 60,000 千円
 クラシック音楽を中心に、アニメ・映画音楽、昭和歌謡なども新たに
 取り入れ、幅広い年代が親しみやすいプログラムにリニューアルし、
 R6は能登半島地震で被災した地域への応援をコンセプトに実施
 - － 県立音楽堂での多彩な公演の実施(文化振興基金) 50,000 千円
 - － いしかわミュージックアカデミー(IMA)の開催(文化振興基金) 20,000 千円
 国内外の著名な講師陣による若手音楽家の育成など
 - － 「金沢芸妓の舞」の開催(文化振興基金) 5,000 千円
 - － 「観能の夕べ」の開催(文化振興基金) 6,000 千円
 - － 県立図書館における文化・交流の機会の提供 25,000 千円
 企画展や多彩なイベントの開催
 - － 障害者アートの魅力の発信 6,400 千円
 企業や公共施設への障害者アートの貸し出し・展示
 - ・ 豊かな「食文化」の振興
 - － 加賀料理の無形文化財登録を目指した調査 4,000 千円
 - ・ 文化遺産の保存・活用
 - － 富山県、静岡県と連携した日本三霊山の魅力発信 10,800 千円
 三霊山サミットの開催、
 三霊山信仰の拠点や周辺観光地を巡るデジタルスタンプラリーの開催、
 首都圏における三県特産品等の物販、工芸体験ワークショップの開催、
 三霊山の歴史・文化をテーマとした講演会、体験イベントの開催など
 - － 尾小屋鉱山資料館のリニューアルに向けた調査・検討 3,000 千円
 - － 妙成寺の国宝指定に向けた気運醸成 2,000 千円
 羽咋市と連携した現地ツアー、県内各地域でのパネル展の開催、
 紹介動画の作成など
- ### (2) スポーツを通じた活力の創造
- ・ 競技スポーツの振興
 - － 「いしかわスポーツ医科学情報センター」におけるアスリートへの医科学サポートの充実 11,500 千円
 コンディショニング指導やメンタル・栄養面の指導

- 競技力向上対策 239,667 千円
各種競技団体や中学生・高校生の競技力向上に対する支援
- 国際大会等での活躍が期待される次世代アスリートの育成支援 10,000 千円
全国トップレベルの選手を日本代表選手等に育成するための支援
- 日本体育大学と連携した高校生等の競技力向上 2,400 千円
指導者の招へい、日体大生・県内高校生の相互交流
- ・ スポーツの裾野拡大・地域活性化
 - アーバンスポーツなど多様なスポーツの振興 13,000 千円
体験イベントの開催など
 - 石川ユナイテッドとの包括連携協定に基づくトップスポーツチームとの連携強化 13,600 千円
各チームにおける「県民スペシャル応援デー」の開催、
親子向けスポーツ体験イベントの開催など
 - トップスポーツチーム・学生連携による地域活性化 8,500 千円
県内各地域における健康増進、運動習慣化の取り組みの実施
- ・ パラスポーツの振興
 - 国際大会・全国大会への出場を目指すパラアスリートの育成支援 3,500 千円
 - パラスポーツに親しむ機会の提供 8,400 千円
特別支援学校でのパラスポーツ教室の開催、指導員養成講習会の開催など

(3) 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化

- ・ 北陸新幹線県内全線開業の効果を活かした誘客キャンペーン
 - 年間を通じた切れ目ない誘客キャンペーンの実施(再掲) 95,000 千円
 - 北陸三県連携による誘客プロモーションの実施(再掲) 16,000 千円
 - 関西圏での情報発信拠点を核とした誘客の推進(再掲) 69,900 千円
 - 本県が舞台となったアニメや映画とタイアップした情報発信(再掲) 19,000 千円
 - アニメを活用した誘客促進(再掲) 15,000 千円
- ・ 多彩な文化資源を最大限に活用した「文化観光」の推進
 - いしかわ文化観光推進ファンド(100億円)による支援 75,000 千円
文化観光素材の発掘から磨き上げ、販売促進までの伴走型の一貫支援
 - 文化観光推進人材の育成・連携促進 2,200 千円
いしかわ観光創造塾における文化観光推進人材の育成
 - いしかわ文化観光スペシャルガイドの育成 1,000 千円
本県の文化の価値を分かりやすく伝える専門ガイドの登録とスキルの向上
 - ⑨ 特別展「まるごと奈良博」の開催(県立美術館)(再掲) 10,000 千円
 - ⑨ 特別展「食を彩る工芸(仮称)」の開催(県立美術館)(再掲) 25,536 千円
 - ⑨ 特別展「知の大冒険 - 東洋文庫 名品の煌めき -」の開催(歴史博物館) 18,000 千円
東洋学の研究図書館「東洋文庫」所蔵の国宝・重要文化財を含む
約120点の文献資料を展示(会期:7月19日~9月1日)

－	特別展開催に合わせたイベントの開催 仏教美術トークショー、書に関するイベントなど	8,000 千円
－	ナイトタイム等を活用した本多の森エリアの魅力創出 特別展の開催に合わせた文化施設の開館時間延長やイベントの開催	8,500 千円
－	ミュージアムツーリズムの推進 特別ガイド付きの特別展鑑賞や工芸品の解説を聞きながら加賀料理を 味わう高付加価値な体験ツアーの開催	2,400 千円
－	明治・大正レトロ文化発信拠点の運営(石川四高記念文化交流館) レトロ衣装体験ルーム「Retrism」、旧門衛所を活用したショップ「GATE4」	35,000 千円
・	海外誘客の推進	
－	アジアからの誘客強化 メディアを活用した情報発信、現地旅行博への出展、 ターゲットに応じた旅行商品造成の働きかけなど	38,100 千円
－	欧米豪からの誘客強化 観光レップを活用した現地旅行会社・メディアへの情報発信、 高付加価値旅行会社・メディアの招へいなど	44,220 千円
－	クルーズ船寄港の促進(一部再掲) 海外見本市への出展など国際クルーズの積極的な誘致活動の推進	21,400 千円
・	ターゲットに応じた戦略的な誘客の推進	
－	ニーズの変化に対応した新たな観光スタイルの開発促進 スポーツ・アウトドアなどの観光コンテンツ開発への支援	15,000 千円
－	修学旅行誘致の推進 学校・旅行会社に対する誘致活動、高校生のガイドプログラム造成の支援	12,500 千円
・	基幹産業としての石川の観光を担う人材の育成	
－	文化観光推進人材の育成・連携促進(再掲)	2,200 千円
・	観光資源を活かした魅力ある受け地づくり	
－	森林公園の魅力アップ 屋内木育施設の整備(R6夏休み前オープン)	84,000 千円
－	千里浜海岸の砂浜再生 浚渫砂を活用した海上投入、陸上からの養浜など	240,917 千円
・	観光地域マーケティングによる効果的な観光施策の推進	
－	デジタルマーケティングを活用した観光情報の発信 ターゲットに応じた広告配信、北陸三県連携の観光客データの利活用	57,000 千円
(4)	交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤の更なる充実	
・	北陸新幹線建設費負担金	1,130,000 千円
・	IRいしかわ鉄道の金沢以西延伸を踏まえた取り組み	
－	「開業記念キャンペーン」による北陸三県周遊の促進(再掲)	8,000 千円
－	マイレール意識の醸成と利用促進(再掲)	8,000 千円
－	経営安定化のための運行支援基金に対する積み立て(再掲)	421,100 千円
－	乗継割引・運賃値上げ抑制への支援(再掲)	250,000 千円

- ・ 安心して快適に移動できる公共交通の実現
 - － IRいしかわ鉄道の乗継割引・運賃値上げ抑制への支援(再掲) 250,000 千円
 - － のと鉄道運行維持への支援 75,850 千円
 - － 生活路線バス運行維持への支援 344,056 千円
 - － 北陸鉄道におけるキャッシュレス決済導入への支援 62,989 千円
 - ・ 小松空港の日本海セントラルゲートウェイ化
 - － 航空の優位性を活かした国内線の利用促進 90,600 千円
羽田便のビジネス・観光利用の促進、東北・四国など航空優位性の高い地域と連携した羽田乗継利用の相互PRなど
 - － 国際旅客便の利用促進(一部再掲) 74,800 千円
台北便、ソウル便、上海便を活用した双方向の旅行商品造成支援、香港・タイ航空会社等へのセールスなど
 - － 国際物流拠点化の推進 22,700 千円
医薬品の取扱量増加に向けた展示会への出展、輸送トライアルへの助成など
 - ・ のと里山空港の活性化
 - － 利用促進活動の展開 180,000 千円
旅行商品の造成支援、マイ空港意識の醸成など
- (5) 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進
- ・ 一人ひとりのニーズに寄り添ったきめ細かな支援による石川県への移住・定住の促進
 - － 情報発信の強化 59,260 千円
移住希望者の関心に沿った多様なテーマによる移住セミナーの開催、子育て情報誌やウェブメディアと連携した子育て世帯向けのPRなど
 - － 移住体験機会の提供 24,430 千円
現地訪問やオンラインによる移住体験の実施、地域おこし協力隊による移住希望者と地域との交流プログラムの実施など
 - － 受入体制の充実 48,969 千円
移住支援金の交付
- (6) 世界に開かれた国際交流の推進
- ・ 世界の各地域との多様な国際交流・国際協力の推進
 - － 「石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム」の推進 35,093 千円
本県独自の日本語・日本文化研修プログラムの実施
 - － 外国人住民の日本語学習の支援 6,000 千円
オンライン日本語教室の実施
 - － 外国人労働者の確保・定着支援(再掲) 5,000 千円
 - － 外国人介護人材の受入支援(再掲) 11,490 千円
 - － 外国人農業人材の受入支援(再掲) 1,000 千円
 - ・ 文化安全保障の理念に基づく取り組みの推進
 - － 大阪・関西万博を見据えた国際文化交流の推進 10,000 千円
韓国・全北特別自治道(旧・全羅北道)への本県文化団体の派遣

6 石川の未来を切り拓く人づくり

(1) 次世代を担う人材の育成

- ・ いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成
 - － 地域の特色を活かしたふるさと教育の推進 10,000 千円
地域活動への参加やフィールドワークによる地域の方々との触れ合いなど、
実体験を通じた学びの推進
 - － 高校生の海外留学促進 7,750 千円
企業からの寄附金を活用した産学官連携による高校生の海外留学の促進
- ・ 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成
 - － きめ細かな指導体制の充実
国の計画を1年前倒しした35人学級の小学校全学年での実現
(R6小学校6年生)
 - － 小・中学校における学力向上対策の推進 14,372 千円
金沢大学と連携した学力向上に向けた分析・改善など
 - － ⑧ 児童生徒の1人1台端末の計画的な更新(3月1次補正) 725,849 千円
小・中学校段階の端末更新を支援するための基金の造成
 - － いしかわ特別支援学校高等部の新校舎開校(R7年4月)に向けた準備 6,267,000 千円
新校舎の建設工事、スクールバスの購入(現状8ルート→R7 21ルート)
- ・ 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり
 - － 児童生徒への相談体制の充実 184,569 千円
小・中・高等学校全校へのスクールカウンセラーの配置、
⑨校内教育支援センター専任教員の配置(10校→20校)
 - － 休日の部活動の地域移行に向けた支援 34,970 千円
- ・ 信頼される質の高い学校づくり
 - － 県立夜間中学「あすなろ中学校」の開校(R7年4月)に向けた準備 263,635 千円
開設準備室の体制拡充、入学者募集や教育課程編成
 - － ⑩ 特別入学導入による外国人生徒等への日本語指導・通訳支援 6,371 千円
 - － 県立学校の計画的な大規模改修(翠星高等学校など20校) 1,263,628 千円
 - － 教職員の多忙化改善の推進 469,062 千円
スクール・サポート・スタッフやICT支援員の配置、部活動指導員の配置
- ・ 教員の資質・能力の向上
 - － いしかわ師範塾による即戦力となる人材の育成と確保 10,518 千円
- ・ 建学の精神を尊重した私学の振興
 - － 私立学校の経常費助成 3,871,923 千円
 - － 私立高等学校の生徒に対する就学支援 1,861,126 千円
 - － 私立高等学校の生徒に対する授業料の軽減 161,789 千円
 - － 高等教育の授業料・入学金の軽減(私立専修学校) 235,690 千円

- (2) 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
- ・ 高等教育機関の多様な「学び」の推進
 - － 大学コンソーシアム石川を核とした「学び」の充実 16,441 千円
いしかわシティカレッジによる学生の履修機会の充実
- (3) 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備
- ・ 生涯にわたり学び続ける環境づくり
 - － 県民大学校による生涯学習機会の提供 38,524 千円
教養・専門講座の開催など
 - ・ 文化・交流機会の提供
 - － 県立図書館における文化・交流の機会の提供(再掲) 25,000 千円

7 温もりのある社会づくり

- (1) 安心して子どもを産み育てることができる環境の充実
- ・ 結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援の充実
 - － 結婚を希望する若者に対する出会いの機会の提供(あいきゅん)や経済的負担の軽減 33,085 千円
「いしかわ縁結びマッチング」システムの運営、「縁結びist」による支援、
婚活イベントの開催、「石川しあわせ婚応援パスポート」の発行
 - ・ 安心して子どもを産み育てるための母子の健康の確保及び増進
 - － 「いしかわ妊娠・出産サポートセンター」によるサポート 15,433 千円
不安を抱える妊婦や里帰り妊婦への相談支援
 - － 不妊治療の経済的負担の軽減 16,978 千円
保険適用外の先進医療に係る費用の7割を助成
 - ・ 幼児教育・保育サービスの充実
 - － 東京大学と連携した幼児教育・保育の質の向上 4,500 千円
0～2歳児の集団教育ガイドライン作成
 - ・ 子育てに関する負担の軽減・子育て世帯への経済的支援
 - － 保育料や放課後児童クラブ利用料の無料化 188,395 千円
 - － 子2人以上世帯へのプレミアム・パスポートの発行 6,000 千円
 - － 乳幼児医療費助成 649,000 千円
 - ・ 社会的支援の必要な子ども・家族への支援拡充
 - － ヤングケアラーへの支援 25,553 千円
保護者等向け心理カウンセラーの配置、子ども向けピアサポートの実施など
 - － 子ども食堂への支援 1,250 千円
開設準備への支援、開設・運営のアドバイザー派遣など
 - － 民間団体と連携した離婚前後の親に対する支援 1,200 千円
養育費や面会交流の取り決めに向けた講座の開催、個別相談の実施など

- ・ 仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)の推進
 - － 一般事業主行動計画の策定促進 9,856 千円
社会保険労務士による計画策定支援
 - － 男性の育児家事参画及び育児休業取得の促進 4,180 千円
父親向け育児講座の開催、企業向け男性育休取得促進セミナーの開催など
- (2) 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
 - ・ 介護・福祉サービスを支える人材の確保・質の向上
 - － ⑧ 介護職員・看護補助職員等の処遇改善(3月1次補正)(再掲) 618,700 千円
 - － 人材の参入促進(一部再掲) 93,844 千円
福祉人材センターによる介護・福祉人材のマッチング支援、
修学資金・就職準備金の貸与、介護職を目指す留学生に対する学費への支援、
外国人の雇用を検討する介護事業者向けのセミナー・個別相談会の開催など
 - － 定着の促進・質の向上(一部再掲) 205,870 千円
魅力ある職場づくりに取り組む事業所の認定、ICT・IoT機器導入への助成、
外国人介護人材の日本語学習経費への支援など
- (3) 全ての県民への必要な医療の提供
 - ・ 地域の医療機関相互の機能分担・連携強化
 - － ⑧ 奥能登公立4病院機能強化検討会(仮称)の設置 2,000 千円
奥能登地域の医療提供体制の維持に向けた機能強化策の検討
 - － ドクターヘリ運航による救急医療体制の確保 334,392 千円
 - ・ 地域医療の確保に向けた医療従事者の確保・資質の向上
 - － 金沢大学医学類特別枠入学者への修学資金貸与 144,000 千円
 - － 看護師不足地域の病院等に就業希望の看護学生への修学資金貸与 86,976 千円
 - － ⑧ 介護職員・看護補助職員等の処遇改善(3月1次補正)(再掲) 618,700 千円
 - ・ 自殺対策・ひきこもり対策などこころの健康づくり
 - － 官民連携による県内全域でのひきこもり対策の推進 12,617 千円
コーディネーターを配置したひきこもり支援拠点での相談・訪問支援など
- (4) 誰もが心豊かに安心して暮らせる多様性を認め合う社会づくり
 - ・ 障害のある人もない人も共に暮らしやすい地域づくりの推進
 - － いしかわ特別支援学校高等部の新校舎開校(R7年4月)に向けた準備(再掲) 6,267,000 千円
 - － 障害者アートの魅力の発信(再掲) 6,400 千円
 - ・ 外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりの推進
 - － 外国人住民の日本語学習の支援(再掲) 6,000 千円

(5) 男女が共に活躍できる社会の実現

- ・ あらゆる分野における女性の活躍推進
 - － 県内企業の成長に向けた女性の更なる活躍の推進(再掲) 3,800 千円

8 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

(1) 災害に負けない強靱な県土づくり

- ・ 豪雨災害を踏まえた流域治水の本格的な実践
 - － 抜本的な治水対策である河川改修等の促進 債務を含め 4,796,440 千円
犀川、安原川、西川、前川、動橋川、津幡川、鍋谷川など
 - － 即効性のある河川の堆積土砂の除去 150,000 千円
計画的な堆積土砂除去の実施(県下全域30河川)
 - － 小規模河川における堤防の強化 200,000 千円
人家が連担する区間の堤防上部の舗装(5か年で県下全域26河川)
 - － 砂防地すべり・治山対策、森林整備 2,105,685 千円
 - － 中山間地域における田んぼダムの試行 7,000 千円
試験田による排水抑制効果の検証
- ・ 災害に強いまちづくり
 - － 緊急輸送道路の整備(一部3月1次補正) 債務を含め 18,867,974 千円
のと里山海道4車線化
(柳田IC～上棚矢駄IC間、上棚矢駄IC～徳田大津JCT間)、
金沢外環状道路 海側幹線(金沢市大河端町～福久町間、今町～鞍月間)、
加賀海浜産業道路(白山市松本町～川北町橋間、小松市城南町～村松町間)
など
 - － 海岸侵食対策(一部再掲) 460,176 千円
増穂浦海岸、押水羽咋海岸、七塚海岸、金沢海岸
 - － 砂防地すべり・急傾斜地崩壊対策(一部再掲) 2,007,053 千円
小松市定者谷川など
 - － 農業用施設の防災対策の促進 972,056 千円
金沢市大場地区など
 - － 県水送水管の耐震化(2系統化) 4,000,000 千円
 - － 住宅の耐震化促進 45,000 千円
 - － 民間大規模建築物の耐震化促進 31,427 千円
 - － いしかわ森林環境税による森づくりの推進(一部再掲) 462,465 千円
里山林における緩衝帯の整備、放置竹林の除去、県産材の利用促進など
 - － 森林環境譲与税による市町の森林整備に対する支援(一部再掲) 59,000 千円
市町支援アドバイザーの設置など
- ・ 災害対応力の基盤強化と自助・共助による地域防災力の向上
 - － 航空消防防災体制の強化 2,326,500 千円
消防防災ヘリコプター「はくさん」の更新(R7年春供用開始)

- ・ 適切な野生鳥獣の保護管理
 - － ツキノワグマ人身被害防止対策の推進 13,800 千円
市街地出没を想定した実地訓練、捕獲技術向上研修の実施など

9 デジタル活用の推進

(1) デジタル活用の基盤整備

- － 様々な分野のデータをつなぐ石川県広域データ連携基盤の運用・機能強化 158,030 千円
県民のニーズや属性に応じたきめ細かなサービスの提供
- － 市町におけるデジタル化の加速への支援 30,000 千円
市町の基幹業務システムの標準化とガバメントクラウドの活用に向けた
専門家による助言・相談
- － 県庁における「デジタルワークスタイル」の実現 490,000 千円
⑧効率性・利便性の高いネットワーク環境への移行
- － 行政のデジタル人材の育成 5,000 千円
職員の理解度に応じた研修の実施

(2) 社会全体のDX推進

- － 早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」の開催(再掲) 26,000 千円
- － デジタル分野でのリスキリングの推進(再掲) 12,000 千円

10 カーボンニュートラルの推進

(1) 幅広い産業分野におけるGX推進

- ・ 成長分野としてのグリーン分野への参入
 - － 産学官連携による炭素繊維分野における革新的な研究開発の推進(再掲) 200,000 千円
- ・ 環境保全型農業の推進
 - － 農業者と消費者双方の理解促進や栽培技術の普及拡大(再掲) 8,000 千円
- ・ 資源循環の取組促進
 - － プラスチック資源循環の推進(再掲) 2,640 千円

(2) エネルギー構造の転換への対応

- － 民間企業の再生可能エネルギー事業への参入促進
再生可能エネルギー導入支援融資 融資枠 5 億円

(3) 住宅や民間施設などのゼロエネルギー化の促進

- － ZEH等の普及促進(再掲) 102,220 千円

(4) 環境配慮型自動車の普及やモーダルシフトの促進

- － 電気自動車等の普及促進(再掲) 155,000 千円

(5) カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成

- － いしかわ版環境ISOの推進(再掲) 4,400 千円
- － 県民一丸となった取り組みに向けた気運の醸成(再掲) 10,000 千円

11 計画的な行財政運営の推進

(1) 県民の視点に立った行政サービスの提供

・ 県民参加を促進する広報・広聴活動の推進

- － デジタル活用とリアルな直接対話を組み合わせた戦略的広報
動画等によるきめ細かな情報発信、タウンミーティングの開催など 18,400 千円
- － 新聞、テレビ、ラジオ、SNSによる県政情報の提供 186,229 千円
- － 全戸配布広報誌「もっといしかわ」の発行 88,767 千円

(2) 柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保

－ 組織のパフォーマンスの向上と主体的なキャリア形成の推進

女性職員キャリア支援研修、職員のデータに基づく施策立案の推進に向けた研修の実施など